

化粧品類、医薬品との競合激化

## 国内の医薬部外品市場を調査

2013年

医薬部外品市場は前年比0.4%減 機能別には美白ケア同2.3%減、アクネケア同1.4%増

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811)は、2013年9月から12月にかけて、日本の薬事法に定められた医薬部外品の化粧品やトイレタリーグッズ、2004年に医薬品から移行した指定医薬部外品などの国内市場を調査した。

今回新たに、医薬部外品と関連性の強い化粧品類、医薬品(一般用/医療用)の各領域で横断的に形成される機能別市場も明らかにし、その結果を報告書「医薬部外品マーケティング要覧 2014」にまとめた。

なお、2013年の市場規模については2013年12月までの調査結果に基づくため、暫定値となる。

### < 調査結果の概要 >

2013年の医薬部外品市場は、多くの品目が縮小したものの、薬用ベースメイク、薬用ヘアケア/スカルプケア、薬用オーラルケアなどが拡大し、前年比0.4%減と縮小は小幅にとどまった。

薬用ベースメイクは、美白やアクネケアなどスキンケア効果を前面に押し出したアイテムが増加していることから2009年より急拡大しており、2012年には100億円を突破した。薬用ヘアケア/スカルプケアは男性用シャンプーが引き続きけん引し、薬用オーラルケアは歯周病予防など機能を訴求した高価格歯磨剤の需要増と共に拡大を続けるとみられる。

### < 機能別市場における医薬部外品 >

スキンケアやボディケア、ヘアケア(スカルプケア)では、機能を訴求した商品は医薬部外品にとどまらず、薬用成分を含まない化粧品類や一般用医薬品、医療用医薬品など、薬事区分の領域をまたいだ競合が強まっている。

	2013年	12年比
美白ケア	2,174億円	98.0%
医薬部外品	1,998億円	97.7%

医薬部外品は美白ケアの内数です。

美白ケアでは、医薬部外品を主力に、化粧品類、一般用医薬品がある。医薬部外品と化粧品類の合算ではスキンケアの比率が9割以上を占め、一部ベースメイクやサンスクリーンなども展開される。なお、一般用医薬品は内服薬のみである。

2012年は医薬部外品がけん引し、化粧品類は「ドクターシーラボ VC100 ポアホワイトローション」(ドクターシーラボ)のヒットなどで拡大したものの、一般用医薬品はサプリメントとの競合や一部の肝斑治療薬が2009年に第一類医薬品に指定されたことから苦戦が続いている。

医薬部外品は2013年にスキンケアで自主回収があり、前年比2.3%減となった。商品の承認が遅れつつある中で投入スケジュールへの影響も懸念され、医薬部外品の承認を受けず化粧品類での新商品投入が増加する可能性もある。

	2013年	12年比
アクネケア	326億円	102.2%
医薬部外品	217億円	101.4%

医薬部外品はアクネケアの内数です。

アクネケアでは、ガシー・レンカー・ジャパンの「プロアクティブ」登場以降、医薬部外品がけん引し市場の7割弱を占めている。その中でもスキンケアの比率が圧倒的に高く9割以上を占め、ベースメイクやボディメイクの展開は一部にとどまる。

この他、一般用医薬品や医療用医薬品があり、2008年の医療用医薬品「ディフェリン」(塩野義製薬・ガルドデルマ)発売と2010年のニキビ患者への通院治療の啓発によって、スキンケアと治療の枠を超えた競合が強まっている。医薬部外品の安定した推移に加え、医療用医薬品が伸びることで市場の拡大が続くと予測される。

	2013年	12年比
育毛ケア	871億円	105.3%
医薬部外品	573億円	107.3%

医薬部外品は育毛ケアの内数です。

育毛ケアは、育毛剤・育毛トニック、育毛シャンプー・リンスなどの医薬部外品が市場の6割以上を占め、一般用医薬品の育毛剤、医療用医薬品の男性型脱毛症治療剤がそれぞれ2割弱を占める。

医薬部外品では「スカルプD」(アンファー)のヒット以降、育毛を訴求した男性向けのシャンプー・リンスが相次いで投入され、女性用でも育毛剤やスカルプケア訴求のシャンプー・リンスが好調なことから、2008年より拡大を続けている。

医薬部外品がけん引しながら、一般用医薬品では2012年末に発売した「リアップジェット」(大正製薬)がヒットし、医療用医薬品では「プロペシア」を展開するMSDによる薄毛の通院治療を啓発するTVCの継続的な投下もあり、2013年の育毛ケア市場は拡大した。

#### < 調査対象 >

機能別市場
保湿フェイスクケア、美白ケア、エイジングケア、アクネケア、保湿ハンド・ボディケア、育毛ケア、頭皮湿疹ケア
医薬部外品市場
薬用スキンケア【薬用洗顔料、薬用クレンジング、薬用モイスチャー、薬用化粧水、薬用乳液、薬用美容液、薬用シート、薬用シェービング料】、薬用ベースメイク、薬用ボディケア【薬用石鹸(固形/液体)、薬用ボディシャンプー、薬用ボディローション、薬用ハンドクリーム、薬用リップクリーム、薬用サンスクリーン剤、除毛剤、てんか粉類、腋臭防止剤【制汗消臭剤、足臭防止剤】、浴用剤、しもやけ・あかぎれ用薬】、薬用ヘアケア/スカルプケア【薬用シャンプー・リンス、スカルプケア、染毛剤、パーマネントウェーブ用剤】、薬用オーラルケア【薬用歯磨剤、薬用洗口液、口中清涼剤】、衛生関連商材、生理処理用品、ソフトコンタクトレンズ用消毒剤/装着液、防虫(忌避)剤、殺虫剤【ハエ・蚊用殺虫剤、ゴキブリ用殺虫剤、ダニ用殺虫剤】、殺ソ剤、内服(内用)剤、ドリンク剤(ミニドリンク剤含む)、外用剤、手指殺菌消毒剤

< 調査方法 > 富士経済専門調査員による対象企業及び関連企業・団体等への直接面接取材と文献調査

< 調査期間 > 2013年9月～12月

以上

資料タイトル	： 医薬部外品マーケティング要覧 2014
体裁	： A4判 280頁
価格	： 書籍版 100,000円+税 PDF/データ版 110,000円+税 書籍版+PDF/データ版セット 120,000円+税
調査・編集	： 株式会社 富士経済 東京マーケティング本部 第一統括部 第二部 TEL:03-3664-5821 FAX:03-3661-9514
発行所	： 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL:03-3664-5811(代) FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a> <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a>